

## 2) プロセスレコード報告

## ①喜びや手ごたえを感じた場面

氏名（研修生A）

1. 本研修中の実習におけるがん患者さんや家族との関わりのなかで、喜びや手ごたえを感じた場面に関して、そのときの具体的な状況や患者さん・家族の反応などを思い出して、記録して下さい。

## 状況・場面の説明

今までの関わりの中で症状が悪くなった時に家族のサポートの事ばかりを考えていたが  
家族については本人も話したがらないので本人の意向を尊重することを伝えた。

患者・家族の言動	私の思ったこと	私の言動
③どういう事を聞けばいいのか な？	①家族にこだわりすぎていた。 ○○さんの意見を尊重して みよう。	②午前中にお話を聞いて考え たんですけど、私は病気になつ たら家族のサポートが必要 だって思い込んでました。でも ○○さんが今まで生きて こられた中で自分の事は自 分で決めてこられて今から もうそうするとおっしゃるな らばそこは尊重しようと思 うんです。これからはわから ない事や助けてほしい事は なんでも聞いて下さいね。
⑥あー、そういうことか！ それはありがたいねえ。大学病院 つちゅうのは治療をするところ で相談とかはあまり出来んから ねえ、説明も簡単だしね。今回の 治療にしてもどうなっているの かわからんし・・。	④あつ興味を示した。家族の事ば かり聞いていた時とは違う、やつ ぱり嫌だったんだなあ・・	⑤例えば・・退院されたあと体が きつくて仕方ないとか何か症状 が出たときの対処法や支援して くれる場所の情報提供とか・・
	⑦ありがとうという言葉がでた。 やった！いけるかも！ 家族の事を聞いているときは表 情も暗かったのに今は笑顔で話 されている。 やっぱり不安もあったんだな、こ	

<p>⑨いや、今じゃなくても治療の区切りがついたときにはきちんと説明してもらいたい。</p> <p>⑫そうだね。</p>	<p>れがきっかけに話してくれるようになつたらいいな</p> <p>⑩今まで説明がなかつたのかな？本人が納得できるように今後は説明してもらう必要があるな</p>	<p>⑧今の段階の説明がほしいですか？</p> <p>⑪それはちゃんとあります。今の治療が効いたかどうか評価して今後の治療方針を話し合わないといけませんしね。</p>
--	--	---

## 2. なぜこの場面に喜びや手ごたえを感じたのでしょうか

家族のことを聞いていてはぐらかしたり病気の事も投げやりの感じがあったように思う。しかし病気になったからといって必ずしも助けが必要という事ではなく現時点では N 氏の思いを尊重する事が一番だと思い、私の思い込みで関わっていた事を謝罪し軌道修正することを言葉で伝えた。そのことによって表情が変わり笑顔になって思っていた事や不安をぶつけてきた。

私の思い込みで話をしていたが行動を振り返る事によって先走っていた事に気付き、言葉で伝えた事によって患者が心を開いてくれたので手ごたえを感じました

## 3. この関わりから得たものは、今後の自分の看護実践にどのように生かせるでしょう？

その人の意志、思いを尊重するという事が患者が心を開くきっかけになり、それによって看護師としてどう関わっていかなければいけないかという問題がでてくるので患者の話を傾聴し、思いを伝えられるきっかけを作れるように接していく。

氏名（研修生B）

1. 本研修中の実習におけるがん患者さんや家族との関わりのなかで、喜びや手ごたえを感じた場面に関して、そのときの具体的な状況や患者さん・家族の反応などを思い出して、記録して下さい。

## 状況・場面の説明

ベッド上、臥床中の患者様で、1回目の足浴を拒否され、3回目のアタックでOKと言わされた。

患者・家族の言動	私の思ったこと	私の言動
③来たか。萩往還の道の駅があるじゃろう。あそこで一番おいしいものは何か？	①(看護師に呼んでいると言われ)何の用事かな? ④うへん、おいしいものね…。でも行ったことないから知らん。	②どうしました？ ⑤あそこで食べたこと無いからわからないですね。何があるのかな。
⑥そうか、この辺は安いけど、美味しいものはない。何か美味しいもん食べたいの一。	⑦ずっと病院だもんね。食事だけが楽しみよね。	⑧そうですね、うどんなら“どんどん”がおいしいですね、あとは“祇園寿司”。少し値が張りますけどね。後は今はどうかわかりませんが、影清洞の所のごぼう天がうまいです。
⑨そういうや、若い時はいろんな所にいろんなものを食べに行きよった。おいしいものもいっぱい食べたよ。また、食べにいきたいねえ…。	⑩こうして話す間に足が洗えそうだな。まだまだ話たりなそうだし、もう1回言ってみよう。	⑪まだ話をするから足を洗いながらでも話そうか？
⑫そうきたか。じゃあ洗つていいよ	⑫お?! やったっ！	⑭ありがとう。

2. なぜこの場面に喜びや手ごたえをと感じたのでしょうか？

事前に相手から断られた為とてもうれしかった。

相手と会話が繋がり、相手が望んだ会話になったことで、相手の気持ちが変わったのだ  
と考えた。

3. この関わりから得たものは、今後の自分の看護実践にどのように生かせるでしょう？

一度断られただけで諦めず、そのケアが患者様にとって大切なことであれば、何回か  
アタックしてみることも大切だと感じた。

相手の言葉に対して受容し、共感することが大切と学んだのでその姿勢で相手と関わ  
れるようにしたい。

氏名（研修生C）

1. 本研修中の実習におけるがん患者さんや家族との関わりのなかで、喜びや手ごたえを感じた場面に関して、そのときの具体的な状況や患者さん・家族の反応などを思い出して、記録して下さい。

## 状況・場面の説明

妻の面会があり、患者さんとその妻3人で話をしていたときのこと。患者さんは手術はしたくないと考えており、妻と話合おうと考えてはおられたが、外泊の際には話を切り出すことが出来ずに病院に戻ってこられていた。（実習12日目）

患者・家族の言動	私の思ったこと	私の言動
①手術は出来るならしたくない。 死んでもええからしたくない。抗 がん剤がよう効いたら、手術せん で放射線だけでいけるんじやな かろうか。 (笑顔)	②外泊中、言い出せなかったと言 っておられたのに、突然言っちゃ ったなあ。	③外泊のとき相談してこようつ て言いよっちゃったのに、言われ んかったって言いよっちゃった んですよ。
④なんで、ちくるんかっしゃー。 (笑顔)	⑤私がいたから、言い出せたのか な？	⑥前の外泊の前も、その前の外泊 の前も、言いよっちゃったんです よ。(笑顔)
⑦また、ちくる。何でみなちくる んかいーや。(笑顔)	⑧照れくさいのかな？	⑨ (笑顔)
妻：⑩そんな先のことを考えても 仕方ないわーねえ。ねえ。(笑顔)	⑪そうね、あんまり考えたら、不 安も募るものね。	⑫それもそうですね。
⑬そねーやっていうから、言われ んじやったんじやーや。(笑顔)	⑭それでも、やっと言えたもの ね。良かった。	⑮ (笑顔)

## 2. なぜこの場面に喜びや手ごたえを感じたのでしょうか？

外泊前には、妻と話をしなければいけないと言っておられたのに、結局言い出せなかつたと、言われていた。それが、特に前触れもなく突然言われたので、私自身とても驚いた。しかし、2人きりの閉塞感のある空間の中で話すことより、病室で冗談交じりの会話の中でも、本音を妻に伝えることができたため。また、活字に起こしてみた時に、馴れ馴れしい言葉で本人に話しかけることが出来たのも、今まで実習を通じて信頼関係が築けていたからではないか。

ただ、この事例の場合現時点での手術適応はなく、今後は放射線療法へ移行する予定であり、本人が考えておられる治療の選択肢と、医学的な治療の選択肢の間にはギャップがある。そのため、次回のインフォームド・コンセント時には「ショック・混乱の時期」が再び訪れる可能性があるため、援助が必要である。

## 3. この関わりから得たものは、今後の自分の看護実践にどのように生かせるでしょう？

自分が何かしよう、変えようと考えてばかりいると、なかなか上手くいかず空回りしてしまう場合が多い。また、家族と深刻な話をするためのきっかけ作りに私たちの存在が必要なときがある。私たち看護師が邪魔をしている場合も多くあるが、場面場面を見極め、介入していくこと、感性を磨くこと、立ち入るところと引くところとの匙加減が大切だと思った。

今後は、インフォームド・コンセント時の「ショック・混乱の時期」の患者の援助が出来るように、研修会の参加などしてスキルを磨いてゆきたい。

氏名（研修生D）

1. 本研修中の実習におけるがん患者さんや家族との関わりのなかで、喜びや手ごたえを感じた場面に関して、そのときの具体的な状況や患者さん・家族の反応などを思い出して、記録して下さい。

## 状況・場面の説明

受け持ち3日目患者の希望で車いすに乗り川の近くを散歩し、今までの闘病生活について語り始めた。なぜ、告知をしてほしくないのかを誰も知らなかった。「病名をなぜ聴きたくないと思われたのですか？」の質問に「怖い、恐ろしい」という言葉を言われた。

患者・家族の言動	私の思ったこと	私の言動
① 外気を吸っていない。こんな所に居たら、キツさも悪くなる。  ④ そうだね。服を沢山着て行ってみようか。外に出てみたい。  ⑦ 萩で一人暮らし。夫は早くに亡くなつた。一人娘は島根県に住んでいる。家族は心配してくれている。都志見病院で病気が見つかつた。ここで、やっと治療ができる。	② 体調が許せば、散歩をしたら気分転換になるのでは  ⑤ 病気に対しての気持ちを聽けるタイミングがあれば、聞いてみよう。  ⑧ なぜ、受け持っているのかを知らないので、話して、患者の思いや気持ちを聞いていいか確認してみよう。	③ 車いすで散歩でもいかがですか？天気も今日はいいですよ。  ⑥ 大学の中でも、外でも今日は天気が良いので、散歩しましょうね。  ⑨ 色々大変だったんですね。私の研修の目的は、闘病中の患者様の気持ちを聞くことを勉強しに来ているんですよ。不安なことがありますか？
⑩ 手術ができるって来たけど、点滴するなんて一ね。1日にやっと始まつた。やっと。	⑪ 拒否出来ることを告げて、告知拒否に対する言葉を聞いてみよう。表情も変わってない。聞けそうだ。	⑫ 「なぜ、病名を聴きたくないと思われたのですか？話たくないね」
⑬ そうだねえ・・・ 聴くのが怖いっていうか、恐ろしい。色んなひどい状態の人を見ているから・・・  ⑯ うなずき、笑顔を見せる	⑭ がんに対しての印象、思いが「怖い、恐ろしい」という感情にさせているのか。	⑮ 「そうですよね。怖いですよね。恐ろしいですよね」と繰り返す。

<p>⑯そう簡単には、みせんよ でも、今少し話したよ。それだけ。  ⑰また、明日も散歩に行こう。気 持ちがすっきりした。</p>	<p>⑯いつでも気持ちを語ってもら えるように伝えておこう  ⑰話をしたことに対して、自己防 御に入っている。まだ色々な思 いが、言葉にできる状態 ではないのだろう。  ⑱よかったです。嫌な思いをされても いないな。散歩にまた一緒に行こ う。気分転換に なるし、気持ちを少し語れるか ら。</p>	<p>⑯お辛い色んな気持ちをいつで も聴きますから、いつでも話して くださいね。  ⑰話たくなければ、それでいいん ですよ。話がしたいと思ったら、 話してください。</p>
--	--	--

## 2. なぜこの場面に喜びや手ごたえを感じたのでしょうか？

倦怠感の訴えのあった患者様から散歩を希望されたこと、自らの生活環境や生い立ち、家族に対する気持ちなどを一気に話し、相手に思いを伝えようとする姿勢が会話の中で感じられていた。又、病名告知拒否の気持ちや理由の記載がなく、その情報がこの方のキーワードであると感じていたため、知りたいと思っていたが、4人部屋のため、話を聞く環境作りができなかった。二人で散歩するタイミングができて、告知拒否に対しての問い合わせをしてみた所、核心に迫る言葉が聴け、権勢する言葉の後に「明日も散歩をしようね」と関わりたいという言葉が聴けた。

## 3. この関わりから得たものは、今後の自分の看護実践にどのように生かせるでしょう？

相手の気持ちを引きだすには、相手の思いを傾聴し、思いを共感してから問いかけると、気持ちの整理がつき、素直な言葉が出せるようになるのではないか。そのためには、心地よい環境と、医療者の聴くことができるという態度、気持ちを引き出せるような言葉がけが重要であることを学んだ。今後、患者様の思いを聴くときは、環境・傾聴・タイミングを考えて行なえば、ひき出すことができる。ただ、拒否することができるということを必ず伝え、話しても良いかを察する看護のコミュニケーションスキルが重要なとなる。又、患者様の情報収集、信頼関係を結んでから行動することが重要である。

自病棟では、受け持ち看護師や、信頼関係が結ばれている看護師が行なうことが必要である。又、医療者も相手の言葉や気持ちに対して感謝や喜びの言葉を伝える事が、必要である。

氏名（研修生E）

1. 本研修中の実習におけるがん患者さんや家族との関わりのなかで、喜びや手ごたえを感じた場面に関して、そのときの具体的な状況や患者さん・家族の反応などを思い出して、記録して下さい。

## 状況・場面の説明

午前中の検温のため、訪室した場面である。

患者・家族の言動	私の思ったこと	私の言動
<p>③おはよう。と笑顔で言われる。</p> <p>⑤夜は、いつも寝るのが0持頃になるね。夜は、トイレに行くから目が覚めるね。でも眠れている。食事もみな食べてるよ。腹八分がいいんだけど、残していない。全部食べた。と笑いながら言っている。</p> <p>⑧おお、見てみいさん。と明るい表情で言われる。毎日、言われた通りにクリームを塗っているからきれいだ。足も見てくれさん。副作用は出ていない。あんたにうるさく言わっているからね。と笑って手と足を見せながら言われる。うがいも毎日やってるよ。きれいじゃろ。これから毎日やらんといけんからな。</p>	<p>① 昨日の夜は眠れたのかな。どう過ごしたのかな。</p> <p>⑥話ができそうなので、副作用について話すことにする。</p> <p>⑨副作用の不安が強かったが、毎日自分で意識して施行していることを、自信持って手足を見てくれている。</p> <p>患者の表情や言葉から嬉しく思う。毎日、声かけし確認したことが意識つけになったと思われる。これからも励まし一緒にやるよう声かけしよう。</p>	<p>② おはようございます。 今日は、いかがですか。</p> <p>④ 夜は、よく眠れましたか。 食事は、食べられましたか。</p> <p>⑦手足の先がピリピリするような感じや赤みがでたとかはないですか。</p>

	<p>⑩今は、副作用は出でていないです ね。〇〇さんが毎日欠かさずされ ているからですね。 これからも、家に帰って続けてや っていけるようにしていきまし ょう。 何か不安に思うことや、わからな いことがありましたら、一緒にや っていきますのでおっしゃって ください。</p>
--	---

## 2. なぜこの場面に喜びや手ごたえを感じたのでしょうか？

抗がん剤が開始になるときは、副作用の不安が強いことを口にされていた。  
しかし、副作用についての予防や対処方法について説明していたので毎日欠かさずケアをされている行動がみえてきた。  
本人の口からは、うるさく言われるからやっていると思われていたことがわかったが、毎日の声かけで少しずつ信頼関係が築けて手ごたえを感じ嬉しかった。  
それが、行動に表れたのだと思った。目標に向かって一緒にやっていくことが大事であると思った。

## 3. この関わりから得たものは、今後の自分の看護実践にどのように生かせるでしょう？

患者の不安や困っていることを、確認することは大事であり毎日声かけを行っていきたい。そして、患者が毎日行っているセルフケアを認め共感することは、患者自身の継続する力に繋がるのだと思った。また、その人らしさを維持し失うことなく支援しなくてはいけない。

氏名（研修生F）

1. 本研修中の実習におけるがん患者さんや家族との関わりのなかで、喜びや手ごたえを感じた場面に関して、そのときの具体的な状況や患者さん・家族の反応などを思い出して、記録して下さい。

## 状況・場面の説明

移植後の急性GVHDの症状が改善し始め、辛かったときの話をしていたとき

患者・家族の言動	私の思ったこと	私の言動
①Pt・S) やっと下痢も良くなってきて、口の中の痛みもだいぶ良くなりました。辛い時期が想像していたより短くて良かった。生理痛のようなお腹の痛みが来た時は、どうしようかと思いました。 ②笑顔で話される。時折涙ぐむこともある。	②本当に辛い時期を乗り越えられたんだな。私も少しほれになれるかな。	③本当に辛かったですね。辛い時期を短く感じることが出来て良かったですね。本当に頑張っちゃったですね。
④S) この病気になってしまったことは辛いけど、本当にたくさんの人たちに助けられて、いい人たちとの出会いに恵まれて、ここまで来ることが出来ました。	⑤症状も改善傾向であり、様々なことも前向きに考えている。	⑥S) 本当にここまで来ることが出来て良かったですね。たくさんの人たちに支えられてきたと思いますが、Mさんの人柄もありますよ。
⑦ありがとうございます。まだ、先は長いですけど早く元気になって、家に帰れるように頑張ります。話を聞いてもらえるだけで、とてもありがとうございます。	⑧決意を新たに、治療意欲が高い。大部屋に出られるようになつたら、退院後の生活について話をしてみようかな。少しでもMさんの気持ちに寄り添っていきたい。	⑨そうですね。私が力になれることがあれば、なんでも言ってください。目指す目標は同じです。私も一緒に頑張ります。 2人で手を握り合う。

2. なぜこの場面に喜びや手ごたえを感じたのでしょうか？

- ・症状が改善し始めたことを共に喜び合うことができ、自分がそばに寄り添うことで、精神的な支えになりえたと感じた。
- ・人との会話・コミュニケーションが大好きな方であるため、出来る限り自分が訪室し、会話をすることで、無菌室にいることを孤独に感じることがないように努めることができたから。
- ・同じ目標に向かって気持ちがひとつになったように感じた。
- ・涙もみられたが、何より最高の笑顔をみることができた。
- ・短期間ではあったが、信頼関係を築く第一歩となつたと感じた。

3. この関わりから得たものは、今後の自分の看護実践にどのように生かせるでしょう？

- ・寄り添い、傾聴することの大切さを再認識した。
- ・患者・家族の気持ちにも寄り添い、思いを共有することで、信頼関係が深まる。
- ・今後通常勤務の中で少しでも時間を作り、寄り添い・傾聴し、コミュニケーションを深めていくようにしていく。
- ・今後、患者に必要な情報をわかりやすく提供できるよう、各疾患や治療についての知識を深めていく。
- ・患者が何を求めているか、どのように接していくべきアセスメントする能力を高め、短期間しか関われない患者との信頼関係が構築できるよう看護実践していく。

氏名（研修生 G）

1. 本研修中の実習におけるがん患者さんや家族との関わりのなかで、喜びや手ごたえを感じた場面に関して、そのときの具体的な状況や患者さん・家族の反応などを思い出して、記録して下さい。

## 状況・場面の説明

気管切開してある患者。発声は出来ないが、口の動きなどでコミュニケーション可能。  
ケモラジの RT 治療 5 回目、つかえ感の自覚で、ライナックの医師に診察を依頼。  
CT フィルムを見ながらの説明後、病棟に戻ってから。(同室者はみなカーテンを閉め切っている)

患者・家族の言動	私の思ったこと	私の言動
① ベッドに座っている。苦悶表情なし。	② 説明を受けて、どう感じたのだろうか？	③ 「先程の話を聞かれて、どうお感じになりましたか？」
④ 「大きさは余り変わった様に感じないけど、これは悪いものだから。」	⑤ がん再発告知はしてあるし、元看護師なので状況は良く分かっているだろう。	⑥ 「ご心配ですね」
⑦ こちらを見ながら苦笑い 「仕方ない。」	⑧ 確かに自分ではどうしようもない事かもしれないけど、相談したり不安を打ち明ける人は居るのだろうか？	⑨ 「心配な事や不安な時に話せる人はいますか？家族とか？」
⑩ 「娘とはそれまで普通だったけど、手術をしてから何かおかしくなった。何も私と話さなくなってしまった。孫は可愛いけど。」	⑪ どういう親子関係か不明。娘は離婚して帰ってきた由。娘とは話をしていないが、孫とは仲が良い様子。	⑫ 「娘さんは何を話して良いか分からないんじゃないですか？そういう事を話してみられましたか？」
⑬ 「話はしていない。別に良い。」	⑭ 前後の話で OP までは普通の母子関係だった様子。寂しくないのかな？	⑮ 「寂しくありませんか？」
⑯ 「別に」 口調は変わらず。	⑰ 会話が短絡方向になってきた。 少し方向を変えてみよう	⑱ 「御主人は単身赴任でしたね。もう長いんですか？」

<p>⑯ 「最初は私も付いて行つたけど、自宅を建ててから単身です。娘が10歳の時だからもう20年。私が入院の時に来たけど、今は岡山です。バカだから。アレはバカだから。」</p> <p>㉑ 「いない。一人で頑張る。」</p> <p>㉒ 「いる。今は津和野。でも実家が岐波の人だから。」</p> <p>㉓ 「ありがとう。」 笑顔でと言われる。</p>	<p>㉔ 20年は長すぎるような…。何かあったのか？頼りにできないのか？</p> <p>㉕ 独孤？孤立？</p> <p>㉖ 頼りにできる人がいて良かった。</p>	<p>㉗ 「辛いときとか話をしたり、ちょっと頼りにできる方はおられますか？」</p> <p>㉘ 「辛いときに一人で頑張ると疲れますよ。（手をソッと握って）いつも頑張っているあなたが心配です。お友達とかどうですか？」</p> <p>㉙ 「何かあれば私達にも相談してくださいね。一緒に頑張っていきましょう。」</p>
---	---	--

## 2. なぜこの場面に喜びや手ごたえを感じたのでしょうか？

- ・患者のプライベートな面に接し、会話を続けることが出来た。
- ・独りでは頑張りきれないという事を知ってもらい、困った時や辛い時は周囲の人に助けを求めるという事を理解してもらうことが出来た。  
(後日、「退院したら直ぐではないけど、夫の所に行こうかと考えています。」という発言があった) また一緒に頑張っていこうという約束が出来た。
- ・セルフイメージの再構築の一助になれた気がする。

## 3. この関わりから得たものは、今後の自分の看護実践にどのように生かせるでしょう？

- ・率直に聞いてみることで、相手も思いを少しづつ出させてくるので、側で傾聴する態度が大切。
- ・患者の話す事でも、真の感情は別の所にあることもあるので、フィードバックやシェアリングで確認していくことは必要。
- ・孤立させない環境作り。

- ・負の感情に捕らわれている時は、それをしっかりと傾聴したうえで、良い方向へ転換していく知識や技術も必要
- ・実際には結構時間をかけて会話しているが、永久気管孔の方で、本人の希望や意向を確認しながらの会話となってしまい、感情を受け止められたかよく分からぬ。そちらにも注意が必要。

氏名（研修生H）

1. 本研修中の実習におけるがん患者さんや家族との関わりのなかで、喜びや手ごたえを感じた場面に関して、そのときの具体的な状況や患者さん・家族の反応などを思い出して、記録して下さい。

## 状況・場面の説明

K氏 60歳 男性 S状結腸癌

手術前日の病室での会話

患者・家族の言動	私の思ったこと	私の言動
<p>③もう明日じゃからな、まな板の上の鯉だよ。 (緊張した表情)</p> <p>⑥うん…らしいね…。</p> <p>⑨うん…。</p> <p>⑫…ありがとう。さっきからいろいろ考えていたけど、少し楽になったよ。初めて大腸癌と聞かされ</p>	<p>①なんだかんだ言っても緊張されている様子だな。</p> <p>④手術を前向きにとらえてもらえるようにいい材料を提供しなくては…。</p> <p>⑦前日なので緊張するなと言うほうに無理があるな。</p> <p>⑩いろいろ言っても今は仕方ないのかも知れない…。</p>	<p>②いよいよ明日は手術ですね。</p> <p>⑤先生からも聞かれたと思いますが、明日の手術は腹腔鏡を使って行なうので、傷はとても小さく済みます。</p> <p>⑧術前の検査でも転移は見られずS状結腸のみの切除で済みそうなので、短い時間で終わりそうですね。大腸癌の手術といつても人工肛門を造ったりしなくていいですし…。</p> <p>⑪おまけに全身麻酔なので、目が覚めたときは手術が終わって病室のベッドの上に帰っておられますよ。</p>

<p>たときは、「癌」なので転移のことや人工肛門のことを考えて不安になっていたけど、自分の癌はそこまで進行しておらず、ラッキーだったと思ってるよ。</p> <p>⑯そうだね。ありがとう。 (笑顔見られる)</p>	<p>⑬理解力のある患者なので、手術を肯定的にとらえることができている。不安はあるだろが適応できているんだな。</p>	<p>⑭明日は頑張りましょうね。</p>
--	---	----------------------

## 2. なぜこの場面に喜びや手ごたえを感じたのでしょうか？

反省：患者との会話を振り返ると決してよい関わりとはいえない、患者の思いを大切にすることができない。

- 明日が手術という患者の立場を考え不安が軽減できるような関わりを心がけたが、患者の反応も少なく、素直に患者の思いを傾聴・共感することが必要だったと思う。
- 患者の思いを大切にすること、自分の言動や行動のもとになる思いや考えを言葉にすることができれば、より安心感を与え関係を発展させることができたと考えられる。

## 3. この関わりから得たものは、今後の自分の看護実践にどのように生かせるでしょう？

- 自分の言動や行動のもとになる、思いや考えを言葉にすることにより、自分自身を客観視でき、援助的コミュニケーションへの発展につなげることができる。
- 相手の価値観やニードを大切にしようとする姿勢は、安心感を与え、患者との関係を発展させることに影響する。

## ②うまくいかなかったと感じた場面

氏名（研修生A）

1. 本研修中の実習におけるがん患者さんや家族との関わりのなかで、うまくいかなかったと感じた（自分の対応に不足を感じた）場面について、そのときの具体的状況や患者さん・家族の反応などを思い出して、記録して下さい。

## 状況・場面の説明

受け持つてまだ初期の段階で病気についてどう思っているのか聞こうとした。

患者・家族の言動	私の思ったこと	私の言動
③親父が大腸がんだったから、いつかは来ると思ってたんでね・・・ ほら昔は遺伝するってよく言われたでしょう？でも、まあ気付くのが遅すぎましたね。血尿と腰痛があったけど病院という所がどうもね・・・	①なるようになるって言われているけど自分の病気の事をどう思っているのかな。  ④病気について受け入れているようだが恐いんじゃないかな？ 気付くのが遅かったと言っているし不安があると思う、強がっているだけ？	②ご自分の病気の事はどう思っていますか？  ⑤今回の化学療法と放射線治療はどう思っていますか？
⑥そりゃあね、期待していますよ。少しでも小さくなってくれたらね。病気はよくはないと思ってるし治療してもダメな時もあるからね。でも・・期待しちょる。	⑦病気についてはよくないとは思っているのか・・・。 効果がなかったら悪くなる一方だし・・・	⑧死ぬのはこわいですか？
⑨こわいっちゅうかね、それはそれで寿命と思ってますよ・・・	⑩いきなり死ぬなんて言葉を言ってしまって気分を害しまわれたのではないか・・・もう少し言い方があったかも・・・。	

2. なぜこの場面をうまくいかなかった（自分の対応が不足していた）と感じたのでしょうか？

医療者のペースで話を進めている。

私のコミュニケーションスタイルに気付かされた。

治療に期待している患者を前に死ぬという言葉を出すタイミングがわかつていなかつた。

3. この関わりから得たものは、今後の自分の看護実践にどのように生かせるでしょう？

医療者のペースではなく患者の位置に自分が行き患者のペースで思っている事を引き出せるよう、コミュニケーション能力を高めていく必要があると学んだ。

氏名（研修生B）

1. 本研修中の実習におけるがん患者さんや家族との関わりのなかで、うまくいかなかったと感じた（自分の対応に不足を感じた）場面に関して、そのときの具体的状況や患者さん・家族の反応などを思い出して、記録して下さい。

## 状況・場面の説明

ずっとベッドで臥床されている患者様で、ずっと足浴していなかった。  
3～4日、訪室したこと。

患者・家族の言動	私の思ったこと	私の言動
③あんたか、じつとしていれば何も起きんじやろ？悪くもならん。帰りたいの一。帰っても誰もおらんけどの。	①今日は機嫌がいいかな～ 拒否されたらどうしよう？  ④娘さんも、息子さんも遠いから 1人で寂しいんだな。	②こんにちは。  ⑤うん。そうですね。
⑥来てくれるのはあんただけじや。	⑦そんなことはないと思うけど な。他の看護師さんは来るはず。	⑧看護師さんは来るんじゃない ですか？
⑨あれは血圧測ったりと、業務的なことしかせん。	⑩そうかー。でもそれだけじやないと思うけど。（足に目がいく）粉 吹いてて汚いな。足浴したら、さ っぱりするし、気分転換にもなる かな。	⑪足を洗ってみようか？ 気持ちいいですよ。
⑫いらん。体にふれられたくない からのー。	⑬でも、さっぱりするんだけど な。	⑭さっぱりしますよ。
⑮さっぱりしてもどうしようも ない。そんなんせんでええ。いつ になつたら帰れるんかの一。	⑯布団に潜ってしまった。もう1 回後で聞いてみよう。	⑮そうですね。いつでしょう？
⑰…。（無言）	⑯寝たのかな？	⑰また来ますね。（退室）

2. なぜこの場面をうまくいかなかった（自分の対応が不足していた）と感じたのでしょうか？

相手の気持ちに合わせず、自分の気持ちで言っていたのだと思う。相手に合わせたつもりだったのだなと感じた。

振り返ってみると、相手の言った事に対して自分の感じた事は否定しており、相手が望んでいることを汲み取っていなかった。それが相手に伝わりうまくいかなかった。

3. この関わりから得たものは、今後の自分の看護実践にどのように生かせるでしょう？

相手が何を望んでいるか、どうしてその発言をしたのかを考えて、それを受け容と共感できたらいいと感じた。

氏名（研修生C）

1. 本研修中の実習におけるがん患者さんや家族との関わりのなかで、うまくいかなかったと感じた（自分の対応に不足を感じた）場面に関して、そのときの具体的状況や患者さん・家族の反応などを思い出して、記録して下さい。

## 状況・場面の説明

外来化学療法室にてAさん（乳がん術後補助療法中）とBさん（術前化学療法中）の3人でお話をしていたとき、旅行の話になった。お2人とも化学療法の副作用で脱毛が著明でカツラや帽子を使用されていた。

患者・家族の言動	私の思ったこと	私の言動
①Aさん：私は温泉に行くんですよ。なるべく人のいないほうに行くようにして。あっちに人が行ったら、こっちに。こっちに人が来たら、あっちに行って…。	②やっぱり、自分の外観をとても気にされているんだな。	③傍らに座って、話を聞いている。
④Bさん：私も温泉好き。そうね、そうすれば、温泉に入れるわね。	⑤治療されても、いろいろ工夫して好きなことをされているんだな。	⑥うなずきながら、静かに聞いている。
⑦Aさん：そうなの。入るときは隠して入って。人がいなくなつてから、ぱっとはずして…。でも、県内には行かないです。ちょっとねえ…。	⑧そんな風に気を使わないといけないなんて。気を使わないで入れる方法はないかなあ。	⑨うなずきながら、静かに聞いている。
⑩Bさん：そうですね。	⑪お2人とも、化学療法をされているし、仲間みたいなものよね、患者会なんかで、人目を気にせず、行かれたらいいのになあ。	⑫患者さんの会で、温泉に行ったところもあるみたいですよ。
⑬2人とも無言…。	⑭しまった。	⑯気まずい雰囲気になる。

2. なぜこの場面をうまくいかなかった（自分の対応が不足していた）と感じたのでしょうか？

私はお2人が同じような治療を受けておられる仲間だと思い込んでいた。そのため、同じ気持ちを持ち、気持ちを共有している仲間のように捉えてしまった。同じ仲間同士なら気兼ねなく自由にいられると思ったために、自分の知っている患者会のことを伝えてしまった。まず、「お2人」と捉え考えてしまったことに、このケースの問題があった。同じ疾患を持ち、治療が進行中の方であっても、一人一人大切な「個」であって、尊重されるべきものだった。

また、他の患者さんもそうだったが、自分で問題解決する方法を知っておられた。必要であれば、答えをくれるであろう化学療法室のスタッフに聞いておられた。初対面の私からお2人の欲しいケアは答えやアドバイスではなく、傾聴することであったのではないか。患者さんの語りに耳を傾け、思いを待つことも大切だと感じた。逆に言えば、「何か方法はないかしら？」など、セルフケアなどについて質問をされたときは、患者さんが聞く土台ができているときだと思うので、そのときに返して行く方が良かったと思う。

3. この関わりから得たものは、今後の自分の看護実践にどのように生かせるでしょう？

このたびかわったこの患者さんは化学療法室のスタッフの方との間に信頼関係があり、必要なときに必要な答えをくれるスタッフに声をかけておられた。まず、信頼関係の必要性とその大切さを実感した。また、この2人のセルフケア能力は支持教育レベルであったため、今日はじめて関わった私には、話を聞くだけでいいと思っておられたのではないかと考える。

今後は患者さんとの信頼関係を大切にし、また一人一人の時期とセルフケア能力を的確に判断し、関わっていくことが必要だと感じた。

氏名（研修生D）

1. 本研修中の実習におけるがん患者さんや家族との関わりのなかで、うまくいかなかったと感じた（自分の対応に不足を感じた）場面に関して、そのときの具体的状況や患者さん・家族の反応などを思い出して、記録して下さい。

## 状況・場面の説明

娘が来院されないことについての不満を4日間はなし続ける。頼んだ物が届かず、散歩に行けない。寒いなどの不満を言われ続ける。それに対して何もアクションを起こさないで、同じ事を何度も繰り返されている。希望を聞くと「持ってきて欲しい。困る」と言われる、また娘さんの悪口が毎日エスカレートし、言葉の口調もきつくなっている。

患者・家族の言動	私の思ったこと	私の言動
① 持って来て欲しい物を紙に記入して頼んでいるのに、持つて来ない。1週間以上経っている。  ④いいや。一度も。	②電話で連絡されていないのだろうか？ベストは先週娘さんと外泊されて購入されているのに。	③電話で連絡されましたか？この前の外出の時から連絡されていないですか？
⑦仕事があるから、仕事中にかけない。迷惑になるから。	⑤えっ、一度も連絡していないの。本当かなあ。	⑥なぜ、電話をされないのですか。
⑩孫はすぐに母親の携帯に電話するから駄目、寒いから着なれた服が手元に欲しい	⑧婿や孫が自宅に居る時間帯があり、伝言してもらえないのだろうか？	⑨伝言や夜の自宅への電話は無理なのですか？どうしたら連絡がつきますか？
⑬そんなことはない。ちゃんと紙を渡している。怠慢なんよ。	⑪どうすれば、患者の希望されている問題が解決するのだろうか？  ⑭仕事が忙しいのか、娘さんに動いて頂くしかないのか。	⑫困っていることを家族に伝えたほうかいいのでは？娘さんも忙しくて忘れているのかも。  ⑮娘さんもお忙しいのですよ。萩に行ってもらい宅配で送る、外泊する、こちらで購入するなど、色々な手段があるので、まず、娘さんに連絡を取るというのはどうですか？

<p>⑯外泊はむり、服を買うのもいや、宅配も仕事の都合で無理よ。この前嫁が自宅に行って居るのに自分の欲しいバイクだけ持ち帰っているんよ。紙を渡しているのに、自分の事しか考えてない。</p>	<p>⑰婿との関係はあまり良くないのか？娘さんしか動く手段がないのか？いつなら娘さんに頼めるのか？聞いてみないと解決しない問題だ。</p>	<p>⑱まず娘さんと連絡を取られてみるのはどうですか？仕事が忙しいからやっぱり無理ですか？</p>
<p>⑲14時頃なら食事介助が終わって休みの時間だから、かけてみようか。</p>	<p>⑳看護師がかけるより、本人が直接話しをした方がいいかも。細かい内容が本人しか伝えられない。</p>	<p>㉑ そうですね。</p>
<p>㉒ 14時過ぎに自己にて歩行器使用しながら公衆電話へ行く。「身内の事に口を挟んで欲しくない」と言いながら歩いているのをスタッフが聴いている。</p>	<p>㉓ 促してないのに自ら電話をかけに行っている。これで連絡がついて、怒りが納まるかも</p>	<p>㉔ どうでしたか？連絡とれましたか？</p>
<p>㉕ 「病院でえね。えらいからつて切られた」と吐き捨てる</p>	<p>㉖ショックだろうな、親子関係は良いって言われていたけど、おかしいな？</p>	<p>㉗ ご心配ですね、大丈夫ですか？</p>
<p>㉘いいや、知らなかつたらよかつた</p>	<p>㉙ 病気にかかっている事に対して知りたくなかつたのか？</p>	<p>㉚ 体調が悪いと知ると、娘さんの事が心配ですよね</p>
<p>㉛いいや、知らなかつたらいいことだった。聞きたくもなかつた</p>	<p>㉜ 来院出来ない、思いが叶わなかつた、聞いてもらえなかつた怒りの裏返しか？</p>	<p>㉝ 土・日曜日に来院がなくとも、理由が分かりましたね</p>
<p>㉞うん・・・服もない。散歩も出来ない。紙を渡したのに。あの子のお産の時は、自分の旅行を辞めてバイクで買い物をしてりして孫を見た。車も買ってやつた。色々してあげている。あの子も介護病院を二つの責任者になっていて、すぐには、来れない。孫の事も忙しい。夜勤明けは来るなつて言つてている。</p>	<p>㉟ 患者の思いと娘の思いが違うのか？ 身内の援助が実は十分に受けられていない人なのでは？ 今は、娘さんの話を避けよう</p>	<p>㉟ 大変でしたね。色々援助されているんですね。娘さんも大変なのですね。〇〇さん体はきつないですか。横になりますか。</p>

<p>㉗ そうだね。横になって少し寝るわ。</p>	<p>㉘ その後に「身内の事に口を挟まないで欲しい」を聴き 傾聴の後の提案が、指示と受け取っていたのではないか この後の行動に気をつけよう</p>	
---------------------------	---	--

## 2. なぜこの場面をうまくいかなかった（自分の対応が不足していた）と感じたのでしょうか？

患者様の再三の訴えに、どうにかして解決してあげたい、解決を望んでいるのではないかと考え、娘さんとの連絡を取るのが良いのではないかと感じた。話しの内容が二転三転とする中で、今まで聴いていた娘さん家族との関係では、連絡する時間を選べば、患者様の思いを叶えてくれるのではないかと感じていたため、それを前提に話し、連絡の選択手段を提案してみた。

しかし、実際は家族から冷たく断られた。連絡が上手く行かなかった時を考えて、提案や話しをしなかったこと、本当に患者様は連絡をしたかったのか、今考えると連絡すると解決するという思い込みがあった上で助言をしていたのではないか。娘さんに医療者が、連絡する方がよかったですのか？ただ、協力的でない娘さんという情報もあり、勝手に連絡すると患者に悪影響を伝えないかと感じていて、自己判断で連絡をしなかったが、カンファレンスにかけてチームで話合えばよかったです。

## 3. この関わりから得たものは、今後の自分の看護実践にどのように生かせるでしょう？

患者の訴えは必ずしも解決を求めてるものではない。また求めていても、情報提供をする場合は、不可であった時に逃げられる口実を作つてあげておかないと、不愉快な状態にさせてしまうことがある。今回の助言が、患者様には指示に感じたのであろう。「家族の中に口をはさまないで欲しい」という言葉が、家族関係に対しての話しあは実なのかは不明であり、家族にお会いしたことがないので、想像の世界で患者と会話していたのも事実である。今後、本当に救いを求めているのか、今解決がすぐに必要なのかを、もう少し会話、行動の中から確認すること。語られていることが、事実なのか確認すること。チームカンファレンスなどで、話合ってみることも必要である。他者を批判しつづけている患者様には、非指示で傾聴することにより、患者自らが取る行動を見つけ、自己決定に結びつくと考える。今後は、苦情・訴えに対しての対応時に、活用して行きます。

氏名（研修生E）

1. 本研修中の実習におけるがん患者さんや家族との関わりのなかで、うまくいかなかったと感じた（自分の対応に不足を感じた）場面について、そのときの具体的な状況や患者さん・家族の反応などを思い出して、記録して下さい。

## 状況・場面の説明

生活背景について情報収集する際、部屋で腰かけて会話する場面

患者・家族の言動	私の思ったこと	私の言動
③季節で、大根やねぎとか色々作ってる。だから、草取りもせんといけん。草取りは素手ですよ。	①退院してからの生活は、どうなのかな。 ④副作用が出現すると、草取りや畑仕事が困難になる可能性がある。予防する方法を指導しなくては。	②退院されたら、畑で野菜作りをされるんですか。 ⑤畑や草取りの作業する時は、指や手を守る為にも手袋をしてされたほうがいいですね。
⑥そうじやけど、素手じやないと小さな草までは取りにくい。あなたは家では野菜は作らんのか。	⑦確かに、草取りに手袋するのはやりにくいな。逆に質問がきたけど。野菜作りの話はよくわからなないな。どうしようか。	⑧私は、今はあまり時間が取れてなくて作ったことがないです。
⑨小さなプランターを買ってねぎでもパセリでも植えたら、すぐに食べられるからやってみてはどうか。ねぎを作ったら味噌汁にでもすぐに使える。手をかけてやつたら野菜は大きく育つ。	⑩野菜作りのプランターについてはよくわからないし、今は時間ができないなと考えながら返答した。	⑪そうですね。作るとすぐに食べれるから作るといいですね。でも時間が取れなくて無理かもしれないです。
⑫あなたは、そう言うけど、やる気になれば何でもできる。時間はそんなにかかるんしやる気の問題だ。と今までより声が大きくなる。話を上の空で聞いている。笑顔で話をされていたが、だんだん消えていった。	⑬相づちをしながら聞いていたが表情・態度・反応が伝わって聞いていないと思われた。一生懸命話をされているのに傾聴できていなかった。また、私が「でも」と言ってしまい、肯定していないな。気まずい雰囲気となってしまった。	⑭すいません。時間をみつけて作れるようにやってみます。また、作り方を教えてください。

⑯笑顔なく、やや寂しそうな表情である。 「まあ、やってみなさい。」		
--------------------------------------	--	--

## 2. なぜこの場面をうまくいかなかった（自分の対応が不足していた）と感じたのでしょうか？

患者が自分の好きな野菜つくりについて、一生懸命話をされているのに私が気乗りのしない返答をしてしまった。声のトーンでも伝わってしまい傾聴できているとは言えなかつた。

冷たい印象を与えてしまった。食の大切さを言いたかったのではないかと考えた。

また、患者は畠仕事での野菜作りが生きがいであることに私が関心を向けていない。

そのため、指導内容からズレが生じて自分のことしか考えていないことに気づいた。

本来の指導する話から、自己主体の会話になっていて患者の思いを聞いていない。

自分ならどうかを、相手の立場になり考えなくてはいけなかつた。

また、コミュニケーションでの非言語的が、取れていなかつた。

そして、じっくり話を聴き患者の本当の思いに気づいていない自分がいる。

## 3. この関わりから得たものは、今後の自分の看護実践にどのように生かせるでしょう？

患者は高齢であり、人生を長く生きてこられている。尊重した態度で接することを忘れてはいけない。解からない会話の中でも聞き返しながら展開するようにしなくてはいけない。相手の立場になり、自分の主張ばかりしないようにしていかなくてはいけない。

普段、日常業務を振り返ってみて他にも受け持ち患者があると、時間を気にしながら接している自分がいる。寄り添うことと思いながらも、時間のゆとりが持てていないことからじっくり話が出来ていないので態度に表れたりするのだと思った。特に夜勤帯での時間の取り方を、検討しなくてはいけないと思った。患者は常に話したいときには、時間を問わず話したいときがあるのでこちら側としては、いつでも受け入れが出来るようにしておかなくてはいけないと考えさせられた。

氏名（研修生F）

1. 本研修中の実習におけるがん患者さんや家族との関わりのなかで、うまくいかなかったと感じた（自分の対応に不足を感じた）場面に関して、そのときの具体的状況や患者さん・家族の反応などを思い出して、記録して下さい。

## 状況・場面の説明

移植直後、粘膜症状が出現し、身体的苦痛が著明にみられていたとき

患者・家族の言動	私の思ったこと	私の言動
①Pt・S) こんな生理痛のような痛みが起るなんて、考えていませんでした。きついですね。口の中も痛くてしゃべりにくくですね。	②辛そうだな。すごく気を使われる方だから、そっとしておいたほうがいいかな。	③S) 私の研修のことは気にされなくて大丈夫ですから、休まれてください。
④S) じゃあ少し休みます。 0) 休まれる。	⑤一旦退室しよう。  ⑦次はいつ訪室しようかな。 タイミングが難しいな。 (1時間後) ⑧そろそろ訪室してみようかな。	⑥S) では、また伺います。 すぐにその場を立ち去る。 無菌室担当 Ns へ報告。  ⑨S) 大丈夫ですか。
⑩S) まだお腹と腰が痛いですね。うつ伏せになったり、仰向けになったりしています。波がありますね。	⑪1時間ずっと一人で我慢していました。	⑫S) 少しさすっても大丈夫ですか。
⑬S) お願いします。	⑭もっと早く行動していればよかった。	⑮さすられるのがしんどくなつたら言ってくださいね。
⑯さすってもらつてると、すごく楽になってきました。		

<p>⑯S) やっぱり痛み止めをもらえますか。</p>	<p>⑰もっと傍に寄り添っていればよかったです。今までもすぐにベッドサイドから立ち去ることが多かったように感じる。 ⑲もう少し早く鎮痛剤の使用を勧めてみたらよかったです。</p>	<p>⑳無菌室担当 Ns へ報告。 鎮痛剤内服介助。</p>
-----------------------------	---	------------------------------------

## 2. なぜこの場面をうまくいかなかった（自分の対応が不足していた）と感じたのでしょうか？

- ・痛みを我慢させてしまった。
- ・気分不良がある場合に、そばに寄り添うのではなく、すぐにその場を離れようとし、アセスメント不足により、一番必要な介入が抜けていた。
- ・疼痛の程度など患者のおかれている状況を把握できておらず、患者にとって苦痛の時間が長期化するような判断をしてしまったと感じた。
- ・看護師の本来の役割を果たせていなかったと感じた。
- ・⑪と⑭で感じた思いを言葉にして、患者へ伝えることができれば、もっと患者と気持ちを共有できた。

## 3. この関わりから得たものは、今後の自分の看護実践にどのように生かせるでしょう？

- ・疼痛などの症状があり、少し様子をみる場合も傍に寄り添うことで、患者の状態を把握し、治療や副作用の出現状況等を考慮したうえで、鎮痛剤を使用するタイミングなど判断していく。
- ・アセスメント能力を磨き、患者に対してよりよい判断ができるよう、今後もプロセスレコードなど使用し、自分の行った看護実践の内容を振り返っていく。

氏名（研修生 G）

1. 本研修中の実習におけるがん患者さんや家族との関わりのなかで、うまくいかなかったと感じた（自分の対応に不足を感じた）場面に関して、そのときの具体的状況や患者さん・家族の反応などを思い出して、記録して下さい。

## 状況・場面の説明

11/8 8:10頃 手術室へ行く前の病室にて。

患者は着替え終わり、ベッドに腰掛けて待っている。カーテンは全周閉めてある。

患者・家族の言動	私の思ったこと	私の言動
① 「もう行くんですか、まだですか？」	② 緊張気味だが、笑顔はある。	③ 「おはようございます。準備万端ですね。もう少し時間ありますよ。」 ベッドサイドに腰を低くして話をする。
④ 「昨夜は9時頃から横になっていたけど、12時頃から眠りました。」	⑤ 寝つきが悪い？ 緊張か不安のためか？	⑥ 「寝つきが少し悪かったのですか？ 寝が足りない感じがしますか？」
⑦ 「それからは眠れましたから充分ですよ。」	⑧ 今のところ寝不足で気分・体調不良はない様子	⑨ 「そうですか」
⑩ 「夢に犬が出てきました。今まで出てこなかったのにね。」	⑪ 初めて犬の話を聞いた。今はもういない(死んだ)のか？	⑫ 「今飼っておられるんですか？」
⑬ 「今年の6月に死んだんです。3ヶ月くらいは泣いてました。立派な死に方で、私も死に方を学ばせてもらいました。」 笑顔で話される。	⑭ まだ心情的に生き残り話題だろうか？ 続けて大丈夫か？ 年齢的にも少しずつ死への心の準備をされているのか。 話は続けても大丈夫そう。	⑮ 「そうなんですか」
⑯ 「迎えに来たんですかね」 点いていないTVの方を向いて話しておられる。		

	<p>⑯「夫はもうこういう入院とか手術の待ちとか看病とかがからきしダメで。本人が病気にならないから良いけど、どうなる事か。」</p> <p>⑰「内視鏡の手術は失敗だったので、外科の先生にお任せしますよ」</p> <p>⑮会話中に OP 出し時間で病棟 Ns の迎えがある。 患者が立ち上がる。</p>	<p>⑰表情は穏やか。とても可愛がつていた犬らしいから、そんなことはないと否定してほしいのか。</p> <p>⑱夫は今日は後から来る予定。仲の良い夫婦か。精神的に頼りにしているらしい。 今も病院慣れしていない夫の心配をされているのか。</p> <p>⑲EMR はもともと困難と説明してあり失敗ではないのだが、患者的には失敗と映っているのだろうか？</p> <p>⑳時間切れ。 気になるけど、もう聞くべきではないだろう。</p>	<p>⑲「見守っていてくれてるんですね。」</p> <p>㉑「そうですか、では今日は待っていて貰いましょうね。お部屋を移るので、そちらの個室で待って貰いましょうね。」</p> <p>㉒少し首を傾げて患者を見つめる。</p> <p>㉓「はい、お任せましょうね。」 OP 室に同行する。</p>
--	--	---	---

## 2. なぜこの場面をうまくいかなかった（自分の対応が不足していた）と感じたのでしょうか？

- ・OP 直前にも関わらず患者と話が出来、話したかった事を話してもらえたが、中途半端で終わってしまった。
  - ・「内視鏡の手術は失敗だった」と言われた時に、『内視鏡手術を失敗した』という風に受け取っていた。気になったので後日確認したところ、『内視鏡でと無理をお願いした、私の判断の失敗。時間を無駄にした。』という発言であったと、自分の受け取り違いに気付いた。
- 言葉は難しいと思った。

## 3. この関わりから得たものは、今後の自分の看護実践にどのように生かせるでしょう？

- ・状況に関わらず相手の話を側で傾聴することは可能。それを受け止める心の余裕が必要。
- ・会話などで自分の琴線に引っかかった事は、確認が必要。

氏名（研修生H）

1. 本研修中の実習におけるがん患者さんや家族との関わりのなかで、うまくいかなかったと感じた（自分の対応に不足を感じた）場面に関して、そのときの具体的状況や患者さん・家族の反応などを思い出して、記録して下さい。

## 状況・場面の説明

患者I氏の妻 60代前半 女性 夫I氏はターミナルステージで入院中  
医師に病状説明で余命は1ヶ月程度であること、延命処置はしないことの話が妻だけにあった。翌日にお見舞いに来られた妻へ話を聞く場面。

患者・家族の言動	私の思ったこと	私の言動
③…ええ…主人に何もしてあげられることがなく…もう、あまり長くはもたないと…。 (困惑した重たい表情)	①突然のことだったので、さぞ驚いておられるだろう。  ④患者の余命は1ヶ月程度、何かされたいことがあるだろうし、ショックを受けることも考えられるが、なるべく早く患者に真実を伝えたい。	②昨日、病状説明が医師の方からあったと思いますが…大丈夫でしたか？  ⑤ご主人とはもうお話をされましたか？
⑥いえ…まだ伝えてはないんですよ…。	⑦残されている時間は短いので、家族の意思決定をサポートしなければ…。	⑧すべてを伝えてあげた方が残りの人生を自分らしく過ごせますし、このままで病状が悪化すれば周りの人に不信感を抱くようになることもあります。
⑨…ええ。	⑩内容が重く決断に時間がかかるのは理解できる。二人の息子に相談してもらい早期に決断ができるように促そう。	⑪息子さんには相談されましたか？
⑫…まだです…息子も仕事がありますし…。		

	<p>⑬早く家族でお話されるように 念を押しておこう。</p>	<p>⑭では、早めに家族で“余命の告 知”についてお話をされておいて 下さい。</p>
⑮…分かりました…。		

## 2. なぜこの場面をうまくいかなかった（自分の対応が不足していた）と感じたのでしょうか？

妻だけが昨日、医師から病状説明を受けておられる状況で、妻がその事実を受け入れられないかもしれないという気持ちを察することができなかつた。残された時間が少ないとから、相手の気持ちを考えずに焦ってしまった。

自分の物の見方や価値観を越えて、妻の立場になって考えることができなかつた。  
QOL=告知＋残された人生を自分らしく過ごすという自分の考えを押し付けようとしていた。

## 3. この関わりから得たものは、今後の自分の看護実践にどのように生かせるでしょう？

自分の物の見方や価値観を越え、患者・家族の立場に立って、相手の感情、体験を理解し、ほんとうの意味での共感・共感的理解をすることで、患者・家族をサポートに生かしていきたい。

自分の計画に合わせることに注意が向き、家族に起きている状況を正しく理解できていないということがないように客観的な目で自分の看護を見つめたい。

患者だけではなく目の前にいる人がどのような思いでいるのかということも焦点をあてて関わることが大切であり、家族ケアも患者の看護へつながっていることを考えて関わりたい。